

【県内産地の自発休眠覚醒日】

本年（2022 年作）の 10～2 月の気温の推移は図 1 のとおりです。11 月の気温は、平年と比べて 0.9℃高くなりました。12 月の気温はほぼ平年並でしたが、1 月の気温は平年より 0.6℃、2 月の気温は平年より 1.1℃低くなりました。1 月～2 月の気温が低くなったことで、本年の自発休眠覚醒日は前年と比べて早くなりました（表 1）。本年は県南部も既に自発休眠覚醒日に達しており、表 1 の地域で開花に必要な低温要求量は足りています。

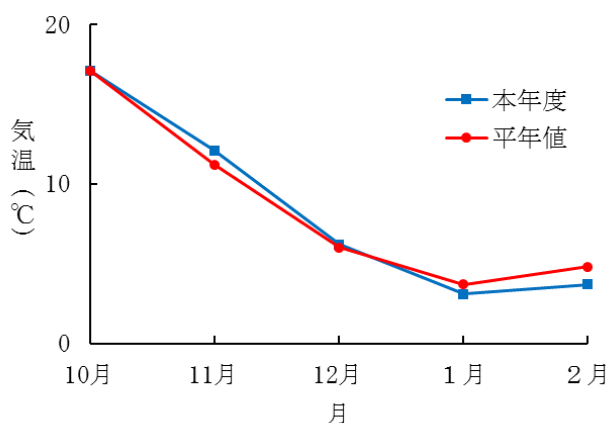


図 1. 令和 3 年 10 月～令和 4 年 2 月の気温 (アメダス佐倉)

注) 平年は平成 3 年～令和 2 年の 30 年間の平均

表 1. 県内産地の自発休眠覚醒日

地域	自発休眠覚醒日	
	前年	本年
千葉市、印西市、四街道市	2月8日	2月6日
市川市、鎌ヶ谷市、八千代市	2月21日	2月13日
市原市	2月26日	2月17日
木更津市、いすみ市 (内陸部)	2月13日	2月9日
旭市	2月24日	2月14日
一宮町、いすみ市 (沿岸部)	2月27日	2月14日
館山市	算出不可	3月7日

【農林総研における耐凍性の変化】

農林総研では、寒さに対する花芽の抵抗性（耐凍性）の経時変化を調査しています。凍害発生危険温度 LT_{50} (℃) は、枝を遠心分離機にかけて得られた導管液の全糖含量から算出します。農林総研では 2 月に最も全糖含量が増えて耐凍性が高まっていますが、3 月に入ると全糖含量が減少して凍害発生危険温度は上がり、3 月 9 日には $-8.8℃$ まで上昇しました（図 2）。このことから、凍害の発生リスクが上がっており、今後は寒波による急激な気温の低下に注意が必要です。

【県内産地の開花日予測】

気象庁の1か月予報（3月3日発表）では、今後は気温が高く推移すると予測されています。早期天候情報では3月13日からかなりの高温になると予測されています。表2は、今後の気温が平年と比べて1～2℃高くなると仮定して開花日の予測を行った結果です。開花始は県内の多くの地点で4月上旬と予測されましたが、今後さらに気温が高くなると近年と同様に開花期が早まる可能性があります。開花予測日は、3月の気温が平年より1℃高まるごとに平年より3～4日早まります。

表2. 3月8日の県内産地の開花予測

地域	品種	平年値+2.0℃を用いた予測		平年値+1.0℃を用いた予測		平年値を用いた予測	
		開花始	満開日	開花始	満開日	開花始	満開日
千葉市（農林総研）	幸水	4月6日	4月9日	4月9日	4月13日	4月12日	4月17日
市川市	幸水	4月7日	4月10日	4月10日	4月14日	4月14日	4月18日
印西市	幸水	4月9日	4月16日	4月13日	4月19日	4月17日	4月23日
市原市	幸水	4月9日	4月13日	4月13日	4月16日	4月16日	4月20日
木更津市	幸水	4月8日	4月14日	4月12日	4月18日	4月15日	4月22日
千葉市（農林総研）	豊水	4月2日	4月8日	4月5日	4月11日	4月8日	4月15日
四街道市	豊水	4月4日	4月10日	4月7日	4月14日	4月11日	4月17日
鎌ヶ谷市	豊水	4月5日	4月9日	4月8日	4月13日	4月12日	4月17日
八千代市	豊水	4月4日	4月8日	4月7日	4月11日	4月11日	4月16日
旭市	豊水	4月7日	4月9日	4月10日	4月13日	4月15日	4月18日

注) 一宮町や館山市は開花予測の精度が低く算出不可

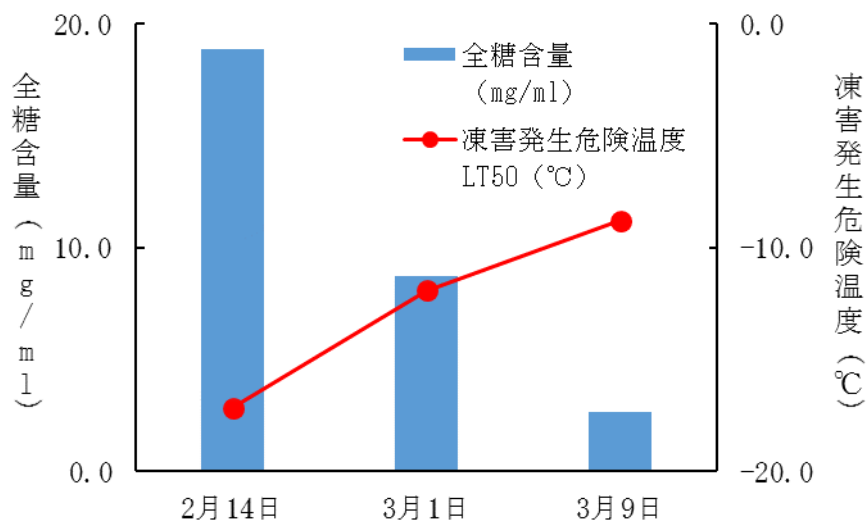


図2 農林総研「幸水」の全糖含量及び凍害発生危険温度

注) 樹から中庸な枝を採取して、糖度 (Brix%) を測定後、伊東ら (2021) の方法に基づき算出

【生育情報の問合せ先: 千葉県農林総合研究センター 果樹研究室 電話 043-291-9989】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.htm>